

自衛隊川崎地区懇話会沖縄部隊研修支援

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木3陸佐）は、4月22日・23日の2日間、自衛隊川崎地区懇話会の沖縄部隊研修を支援した。

本会の部隊研修は2年に1度行っており、「今回は是非、南西地域の最前線で警戒監視にあたる陸・海・空自衛隊を研修して、その活動を応援したい」という要望で実施された。

2日間の部隊研修では、第15旅団、第5航空群、第83航空隊それぞれの任務・役割、訓練や活動の状況及びP3C対潜哨戒機やF15戦闘機等の研修を行い、参加者は担当者の説明に熱心に耳を傾けていた。第5航空群司令や第5整備隊司令との懇談では、南西地域における自衛隊の重要性等について、活発な意見交換が行われた。

また、少年兵として参戦しウラジオストックに抑留された経験をもつ参加者もおり、資料館や海軍壕での戦史に関する研修では「当時の事を思い出すと涙が溢れてくるよ。」としみじみと語られていた。

川崎出張所は、「南西地域の最前線で活動する部隊の状況を認識してもらい、わが国の平和の大切さ、自衛隊の任務・役割の重要性、並びに部隊活動の基盤となる優秀な隊員を獲得する募集業務の大切さを再認識してもらうことが出来た。今後も、このような機会をとらえ、募集基盤の拡充に努めていく」としている。



資料館見学



第5航空群司令表敬



P-3C見学

「第37回大和市民まつり」で募集広報

神奈川地本厚木募集案内所（所長・小谷2海尉）は、5月10日（土）及び11日（日）大和市民まつり実行委員会主催による「第37回大和市民まつり」に募集相談員、陸友会県央支部及び父兄会大和市支部の協力を得て、募集広報を実施した。

自衛隊ブースには、自衛官募集相談コーナー、迷彩服の試着コーナー等を設け、大勢の市民が訪れた。大和市は、厚木募集案内所が担当する市町村の中で最も入隊者の多い市であり、この日も入隊者や家族、友人等がブースを訪れ、交流を深めることができた。パレード行進では、「自衛隊のパレードが見たい」「やっぱり自衛隊の音楽隊に来てほしい」等、音楽隊の参加を熱望する声が大勢の市民から聞かれた。

厚木募集案内所は、「今後も募集相談員等の協力を得ながら、各種イベント等を通じ自衛隊の活動や魅力を積極的にPRし、地域に根ざした募集広報及び防衛基盤の拡充に努め、任務達成に邁進していく」としている。



自衛官募集相談コーナー



迷彩服試着コーナー